

以文会報

愛知川小学校 以文会
令和6年 10月
会 長 河村 善一

以文会会長 河村 善一

会員の皆様には、日頃以文会の活動にご理解とご協力を賜り、有難うございます。

「以文会」は、愛知川小学校の卒業生の皆様で組織されています。140年以上の歴史を持ち、4年後には創立150周年を迎えます。

今日まで、会員相互の親睦を図ると共に、母校の在校生の教育活動を支援してまいりました。今後も、引き続き行ってまいります。

さて、今年の滋賀県の話はと言いますと、4月に2024本屋大賞で、滋賀県在住の宮島未奈さんの『成瀬は天下を取りにいく』が選ばれたということではないでしょうか。早速読ませて頂きましたが、大変地域愛に溢れ、面白く、興味深い内容でした。続編の『成瀬は信じた道をいく』の本と合わせて90万部が売れているそうです。

さて、昨年の5月8日より、新型コロナウイルス感染症が5類となり、行動制限がなくなり、各行事が再開されるようになってまいりました。

今年も、10月5日に開催された小学校の運動会では、子ども達が元気に運動場を走り回る姿を見ることが出来ました。また、多くのご家族の参加がありました。

今後、12月5日には以文会主催の「小学校ふれあいもちつき大会」を実施致します。もちつき大会後には、以文会会員の物故者の追弔法要を行います。

毎年、皆様方には以文会の年会費を頂いておりますが、今年もよろしくお願い致します。

愛知川小学校 校長 上村 ひとみ

令和6年度も折り返し地点を過ぎ、後半に入ってきました。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育の推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度も「**あい**が**いっぱい**愛知川小」を合言葉に、教職員が一丸となって、児童と共に様々な教育活動を展開中です。これまでの活動から、「**学びあい**」「**認めあい**」「**励ましあい**」「**助けあい**」「**高めあい**」といった素敵な言葉が生じ、そういった風土が創られてきました。

新型コロナウイルス感染症拡大により世界的なパンデミックに陥った数年前には、様々な行事や教育活動、行動が制限され、至る所で分断が生じました。少しでも、本来あるべき姿に戻すべく、今年度は、以文会様のお力添えをいただき、地域に伝わる「カロム」を通して、横・縦のつながりを強め、ふれ合いを深めていく活動を展開しているところです。さらに、すべての活動の原動力とも言える自尊感情を高める「全校チャレンジ100」にも取り組んでいます。

長年にわたり、この愛知川小学校は、以文会様から多大なるご支援をいただいております。今後とも、「あい・愛」が溢れる素敵な愛知川小学校をご支援くださいますようお願い申し上げます。

なお、最後になりましたが、以文会役員の皆様には、役員会への出席、会費徴収等にご尽力いただいておりますことに、教職員一同、心より感謝申し上げます。

以文会 ふれあいもちつき大会 追弔会



「ふれあいもちつき大会」を開きました。声を掛け合い楽しく餅つきをしておいしくいただきました。

また、中宿の延寿寺住職 平野宏文様をお願いし、以文会館において、亡くなられた本校卒業生の追弔会を執り行いました。

ご出席・ご協力いただきました皆様に、感謝申し上げます。

～母校の話題～ あいがいっぱい愛知川小NEWS



1年生

「親子活動」でじゃんけん列車



2年生

1年生へ向けて 生活科の発表会



3年生

「町たんけん」施設見学



4年生

浄水場見学に行きました。



5年生

「うみのこ」第48航海での宿泊体験



6年生

下級生へ向けて「教え隊」の活動